

## 研究協力のお願ひ

昭和大学藤が丘病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

### 救急救命センターの三次対応を行う看護師の看護業務改善に向けた検討

—監視カメラ映像を用いた事例検討による分析—

#### 1. 研究の対象および研究対象期間

2019年5月以降、2021年3月までに当院へ三次救急搬送された方。

#### 2. 研究目的・方法

救急医療センターでは、医療安全の観点からすべての患者様を対象に監視カメラ映像を撮影しております。本研究は救急救命センターの三次救急対応を行う看護師を対象に、初療室内の移動回数・距離や各種看護業務の内容と回数・所要時間を測定して三次救急対応を行う看護師の行動解析を行います。また、自己評価および行動解析結果をフィードバックされることによって、初療室内の移動回数・距離や看護業務の回数・所要時間に効果的な影響があるかを検証します。これらのデータから看護業務の実態を把握し、監視カメラ映像を用いた事例検討による業務改善を目的としています。

研究方法は、昭和大学藤が丘病院救急医療センターERの蘇生室において、三次救急患者の初療対応を行う看護師を対象に、看護師教育を行う際に監視カメラ映像を活用した振り返りを行います。さらに、看護師は本研究のためにアイカメラおよび無線タグを装着し、三次救急対応中の視線および動線を測定します。この際に、患者様およびご家族様が分かる映像を使用しますが、個人情報管理責任者によって個人が特定されないデータとして管理します。

#### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

・電子カルテから以下の情報を収集します

- ① カルテ番号、年齢、性別、救急要請時の主訴、診断名、ERでの処置内容および使用薬剤
- ② ER蘇生室の滞在時間および内容

・監視カメラ映像から以下の情報を収集します

- ① 蘇生室内での看護師の行動

・アイカメラから以下の情報を収集します

- ① 救急対応中の看護師の視線

・無線タグから以下の情報を収集します

- ① 救急対応中の看護師の動線

※ 上記内容は個人情報特定されない方法で管理し、一定の保存期間後は破棄します。

#### 4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。  
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学藤が丘病院救急医療センター

氏名：藤後 秀輔

住所：227-8501 神奈川県横浜市青葉区藤が丘 1-30

電話番号：045-971-1151（内線：6219）

研究責任者：

所属：昭和大学大学院保健医療学研究科

研究責任者：下司 映一